

令和6年度 事後評価シート

施策	30医療体制の整備
K G I	①県内の医療施設に従事する医師数 【基準値】3,693人（令和2年）【目標値】3,819人

【細施策シート】

策シート】

細 施 策		30_08	看護職員の確保				担当部局		保健福祉部		
							施策KGI		①		
K G I		人口10万人対の就業看護職員数									
		KGI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	1332 人	目標値	1332 人	目標値	人	目標値	人
		基準値	1758 人	実績値	1728 人	実績値	1728 人	実績値	人	実績値	人
				達成率	130 %	達成率	129.7 %	達成率	%	達成率	%
ストック/ フロー	フロー	成果進捗 評価	順調	成果進捗 評価	順調	成果進捗 評価		成果進捗 評価			
6 年 度	要因分析 【必須】	出典である衛生行政報告例（厚生労働省）は隔年実施の調査であり、R6年度の数値は現時点では未確定であるため前回調査分（R4年度）の数値を記載。 令和6年調査（就業看護職員数/人口10万人対）における全国値は集計中であるが、本件は1,802人で増加（＋74人）した。 就業先別内訳では、訪問看護ステーションや介護関係施設等は増加したが、病院や診療所は看護職員が減少している。 高齢化により、在宅医療ニーズの増加を背景として、訪問看護ステーション当の有効求人数が増加したことに加えて、育児短時間勤務や夜勤シフトがないなど、多様な働き方を選択しやすい訪問看護ステーション等を就業先として希望する看護職員が増加したものと推測。一方で、夜勤等不規則な働き方が求められる病院、診療所の看護職員は減少しており、引き続き若手看護職員の確保に努める必要がある。									
	見直し方向性 【必須】	県内の大学や看護師等養成所では少子化に伴う学生数の減少に加え、若者の都会志向による卒業生の県外流出の傾向もみられるなど、特に夜勤を支える若手看護師確保に課題がある状況。そこで、県内の各学校と連携・協力して看護学生の確保に取り組むとともに、卒業生等の県内就職に向けた支援を行い、若手看護師の確保を促進していく。 さらに、令和7年度からの目標値をより現状に沿うように見直し、4月の募集人員に対する全体充足率が100%になることを目指す。									